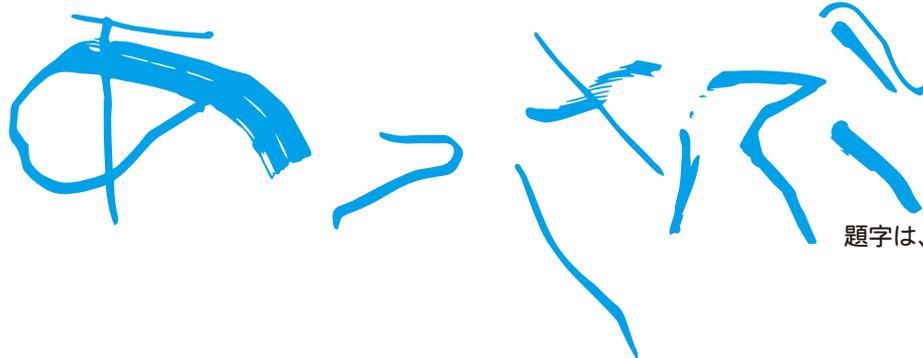


議会だより



平成29年 9月

No.95

題字は、厚沢部保育所 たんぼぼ組の桜庭創さんです。
サクラパソフ



総務文教常任委員会・第1回所管事務調査



町立公園の現況と今後の整備計画について



荒廃農地の利活用について



産業厚生常任委員会・第1回所管事務調査

平成29年度総務文教・産業厚生常任委員会第1回所管事務調査の様子



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あさばメークイン」を守ろう!～



認定こども園新築工事基本設計・実施設計委託料 など9549万8千円を補正

総額38億7949万8千円

平成29年第2回定例会が6月15日の1日間の会期で開かれ、補正予算、農業委員会委員の選任等24件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算 一般会計

歳入歳出それぞれ9549万8千円を追加し、総額38億7949万8千円となりました。追加補正された主なものは次のとおりです。

●コミュニティ助成事業費補助金 (380万円)

●地方創生アドバイザー報償費 (500万円)

●認定こども園新築工事基本設計・実施設計委託料

●まちづくり会社設立出資金 (3169万6千円)

●プレミアム商品券発行事業費補助金 (900万円)

●中学校スクールバス購入費 (1744万5千円)

質疑応答 (要旨のみ)

0万円未満の範囲内での出資金です。

問 地方創生アドバイザー報償費について

答 地方創生の人材支援制度によって新経済連盟から派遣された地方創生アドバイザーへの報償費です。

問 中学校スクールバスの運用について

答 町でバスを用意し、運行・車両管理については、業務委託を予定しています。

問 コミュニティスクール導

問 まちづくり株式会社設立出資金について

答 設立に関して25%、25

厚沢部版CCRCを積極的に進める

- ③ 外部検証委員会を設置してはどうか。
 ④ 検証するにあたり、住民参加の道を広げてはどうか。
 ⑤ 人口減少問題についてどのように考えているか。

答

- ① 金額ベースで産業関係の種イモ選別施設の建設費の増額が最も多く、次いで地域集会施設の改修、情報関係でテレビの難視対策等の事業費増です。
 ② 各関係課長以下の職員で検証しています。
 ③ 現在のところ考えていません。
 ④ それぞれの部門別委員会の中で検証しています。
 ⑤ 移住交流が人口減少の歯止めをかける対策と考えています。

問

質問2 CCRC(生涯活躍のまち)構想について

独居老人の増加・超高齢化時代を目前にして、高齢者生活支援事業としての生涯活躍のまち構想について町長の所見を伺います。

答

構想実現のためには、行政だけでなく民間の力も必要と考えています。現在、コミュニティ形成地区として、上里地区への移住体験住宅、移住センターの建設を町が進めているほか、サ高住10戸の建設が民間によって計画中であり、民間が全体を管理しながら移住者を募り、運営に当たる予定です。移住者には、単なる移住だけでなく、生きがいを持って地域の雇用や新しい仕事を担っていただけるように期待しています。また、少子高齢化による人口減少下においては、都市部からのイターン、Uターンを含め、移住の受け皿となる環境を整えることは重要な施策であると考えています。



当町の災害対策について

佐々木宏議員

質問 1

災害犠牲者を出さない防災対策を
していきたい
渋田町長



佐々木議員

問

- ① 情報の収集・伝達体制は。
 ② 職員の動員・配備体制は。
 ③ 総括する課は。
 ④ 総合防災訓練の実施の考えは。
 ⑤ 防災フォーラム開催の考えは。
 ⑥ 災害時要支援者名簿の有無について個別計画の作成は。
 ⑦ 災害時要支援者数は。
 ⑧ 他の市町村と比較した自主防災組織・防災訓練の実施状況は。

答

- ① 気象庁が発表する特別警報等で災害発生が予想される場合、メール・テレビ・消防吹鳴装置・広報車などで住民へ周知します。
 ② 災害発生が予想される場合

は各課長及び災害担当の住民運動係及びダム管理担当の農村整備係が待機します。実際に災害が発生した場合は、全職員が配備されます。
 ③ 総務政策課長・住民運動係です。
 ④ 現在、町の施設ごとに火災訓練や町内会での防災訓練・研修会を実施していますが、今後は様々な災害を想定し、地域防災マスターの協力を得ながら各町内会と防災訓練を進めていきます。
 ⑤ 災害時には、自助、共助、公助のバランスが大切であり、町内会連絡協議会等と連携し、住民自らの危機意識を高める方法・手段について検討します。
 ⑥ 災害時要支援者名簿は平成26年度に作成していますが、個別計画については檜山管内においても努力義務ということもあり、当町では作成して

意見書を提出しました

第2回定例会で意見書2件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。(内容省略)

●地方財政の充実・強化を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、内閣府特命担当大臣(地方創生・規制改革担当)

●義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

提出先 内閣総理大臣、衆議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命大臣(地方創生担当)

いません。
 ⑦ 現在の名簿登録者数は366人です。
 ⑧ 各町内会で組織数は21あり、自主防災組織率は100%です。また、防災訓練の実施状況は平成28年度では富栄・館町、新年度に入り上里で実施しています。

5月16日
臨時会

第1回臨時会が5月16日招集され、副議長選挙ほか2件を審議し、原案どおり可決されました。

**副議長に佐々木宏
議員を選出**



副議長
佐々木宏議員

議会で選挙した結果、佐々木宏議員が副議長に初当選されました。

佐々木議員は、平成7年に町議会議員に初当選し、現在6期目です。

副議長の就任に伴い、議会構成が次のとおり変更になりました。

□**総務文教常任委員会**

- 委員長 山崎 孝
- 副委員長 下川部洋伸
- 委員 浜塚 久好
- 佐々木 宏

□**産業厚生常任委員会**

- 委員長 高田 一弥
- 副委員長 松村 松雄
- 委員 中山 俊勝
- 只野 勲

(山崎孝委員が総務文教へ)

□**議会運営委員会**

- 委員長 中山 俊勝
- 副委員長 只野 勲
- 委員 浜塚 久好
- 山崎 孝

※太字が今回変更となった委員です。

承認

●厚沢部町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認

●厚沢部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

8月1日
臨時会

第2回臨時会が8月1日招集され、補正予算案ほか2件を審議し、原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ214万5千円を追加し、総額38億8164万3千円となりました。補正の内容は、ひとり親家庭等医療費扶助費の増額です。

契約の締結

●厚沢部・赤沼地区農業集落排水施設機能強化対策事業防食被覆工事請負契約の締結

●赤沼地区農業集落排水施設機能強化対策事業電気設備工事請負契約の締結

委員会活動

の取組みについて

町議会に設置されている総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会では、今年度の所管事務調査の内容を次のとおり決定し、7月から調査を開始しています。

○**総務文教常任委員会**

- 統合中学校舎の現地確認について
- 小学校の英語教育について
- 総合給食センターの現地確認と運営状況について
- 緑町宅地分譲地の現状と今後の課題について
- 教職員住宅の現状と今後の取組みについて
- レクの森遊歩道の管理状況と現地確認について
- ふるさと納税の現況と今後

○**産業厚生常任委員会**

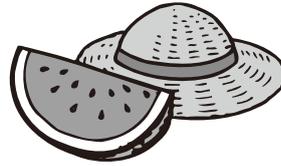
- 町立公園の現況と今後の整備計画について
- 今後の建設事業に係る起債計画と町の財政運営について
- 町営牧場の管理状況について
- 認知症対策について(緊急通報システムの普及、認知症初期集中支援チームの設置状況)
- 荒廃農地(上里、稲見)の利活用について
- 繰越明許事業(生涯活躍のまち構想拠点施設整備事業、産地パワーアップ整備事業、総合給食センター整備運営配送事業)の進捗状況について

一般会計補正予算の内訳 (歳出のみ)

区分	補正額	補正後の額
民生費	2,145千円	792,812千円
合計	2,145千円	3,881,643千円 (補正後の予算総額)



町営牧場の管理状況について



- ・生活道路（館地区）について
- ・道の駅の運営状況について
- ・町内危険地域の指定について
- ・GPS基地局設置事業について

主な議会のうごき (5月臨時会後から8月臨時会まで)		
月日	主	要 事 項
5	19	第1回町議会臨時会招集（議場） 議員出席
	31	原水爆禁止国民平和実行委員会（町長室） 議長出席
5	5	檜山地域振興協議会総会、国道227号早期改良整備促進期成会総会、高規格幹線道路「木古内・江差間」整備促進協議会総会（檜山振興局） 議長出席
	6	少年の主張檜山地区大会「第30回厚沢部町予選大会」（町民交流センター） 議員出席
6	13	北海道町村議会議長会定期総会及び研修会（札幌市） 議長出席
	15	第2回町議会定例会招集（議場） 議員出席
	25	第63回檜山管内消防総合訓練大会（奥尻町） 議長出席
	28	平成30年度管内懸案事項要望（函館市、札幌市） 議長出席
7	4	議員研修会〔道議長会主催〕及び行政視察（札幌市、平取町～5日） 議員出席
	12	総合給食センター竣工式（同センター） 議員出席
8	1	厚沢部町戦没者慰霊式典（山村開発センター） 議員出席
		第2回町議会臨時会招集（議場） 議員出席

委員会活動状況

月日	委 員 会 名	出 席 委員数	活 動 内 容
5	12	4名	議会運営委員会 第2回定例会について
	15	4名	総務文教常任委員会 所管事務調査について
6	15	4名	産業厚生常任委員会 所管事務調査について
	10	4名	議会広報編集特別委員会 広報No.95号の編集について
7	12	4名	総務文教常任委員会 第1回所管事務調査
	19	4名	産業厚生常任委員会 第1回所管事務調査
	20	4名	議会広報編集特別委員会 広報No.95号の編集について
	1	4名	議会運営委員会 第2回臨時会について
8	21	4名	議会広報編集特別委員会 広報No.95号の編集について

編集後記

今年7月、九州地方において記録的豪雨に見舞われ、甚大な被害に遭われた多くの方々に、心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を願っております。「災害は忘れた頃にやってくる」、よく言われる教訓ですが、心の片隅に留めておきたい言葉です。災害に対する心構えとして、災害が発生したらどのような行動をとるのか常日頃から考えることが大切とされており、そして、自助・共助・公助という言葉もあります。まずは、自分のことは自分で考えて対処するということではないでしょうか。そこで、体が不自由で対処出来ない人への対応が必要・大事となります。普段から体の不自由な方々と災害が発生したらどのように行動するのが良いのか、コミュニケーションを持つことに意味があると思います。「遠くの親戚より近くの他人」の言葉通り、隣近所の絆が大切ではないでしょうか。当町は台風等の災害はあまりありませんが、この先も平穏であることを願っております。

(浜)

議会広報編集特別委員会
委員長 松村 松雄
副委員長 只野 勲
委員 浜塚 久好
委員 下川部 洋伸